

★コンテナー on Azure ★コンテナーオプションの比較 ★コンピューティングサービスの選択

※2020/1/31に廃止。
AKSに置き換えられた。

コンテナー通用には
Premium/専用プランが必要

※コンピューティングのサービスではない

※2021/5/15 リタイア、後
続: Bridge to
Kubernetes

(旧Azure Spring
Cloud)

サービス名	Azure App Service	Azure Batch	Azure Service Fabric	Azure Container Service	Azure Functions	Azure Container Registry	Azure Container Instance	Azure Kubernetes Service	Azure IoT Edge	Azure Dev Spaces	Azure Red Hat OpenShift	Azure Spring Apps	Azure Container Apps
略称	?	?	?	ACS	?	ACR	ACI	AKS	?	?	?	?	ACA
コンテナーのサポート	コンテナー「も」	コンテナー「も」	コンテナー「も」	コンテナー「のみ」	コンテナー「も」	-	コンテナー「のみ」	コンテナー「のみ」	コンテナー「のみ」	-	コンテナー「のみ」	コンテナー「も」	コンテナー「のみ」
Preview		2014/10/28	2015/4/29	2015/12/2	2016/3/31	2016/11/7	2017/6/26	2017/10/24		2018/7/9		2019/10/8	2021/11/2
一般提供開始	2015/3/24	2015/7/9	2016/3/31	2016/4/19	2016/11/15	2017/4/7	2018/4/25	2018/6/13	2018/6/27	2019/5/6	2019/5/7	2020/9/2	2022/5/24
コンテナーサポート開始	2017/9/6	2016/3/30～Preview of Linux on Azure Batch		-	2019頃 ?	-	-	-	-	-	-	2022/5頃～ カスタムコンテナイメージのデプロイに対応	-
特徴	Web アプリやWeb APIをホスティング	数十～数千の仮想マシンを使用して大規模なバッチ ジョブを並列実行	マイクロサービスとコンテナーのデプロイと管理を行うための分散システム プラットフォーム。 Azure SQL Database, Azure CosmosDB, Cortanaや Microsoft Power BI、Dynamics 365などの基盤。 Kubernetesと似ているが別のもの。	DC/OSやDocker Swarmに対応	サーバーレス。トリガーにより関数を起動して実行。	プライベートレジストリ。 ACRタスクを使ってコンテナ イメージをビルドできる。	サーバーレス。 Dockerコンテナをすばやく実行。	Azure上にKubernetesクラスタをすばやく構築。	分析とカスタム ビジネス ロジックをデバイス側で実行。 Azure のサービス、サードパーティのサービス、または独自のコードを実行するコンテナを「IoT Edgeモジュール」として「IoT Edgeデバイス」にデプロイ	ライブの AKS クラスタで サービスを実行し、エンドツーエンドでテスト	Red Hat OpenShift (Red HatのKubernetes デイストリビューション) を実行するための統合された製品 (Steeltoe) をホスティング。 Microsoft と Pivotal が共同開発	Spring (Java) 開発者のためのPaaS。マイクロサービス アプリをすばやくデプロイ可能。 Java (Spring Boot) と ASP.NET Core (Steeltoe) をホスティング。 Microsoft と Pivotal が共同開発	オーケストレーションやインフラを気にすることなく、コンテナ化されたアプリケーションを実行。 Dapr/KEDA/Envoy が組み込まれている
Kubernetesとして利用できる ?	No	No	No	-	No	-	No (Kubernetesまたは Service Fabricベース)	Yes	No	-	Yes	No (Kubernetesベース)	No (Kubernetesベース)
スケールビリティ	あり (手動・自動スケーリング)	あり (手動・自動スケーリング)	あり (手動・自動スケーリング)	-	あり	-	なし	あり	なし (エッジデバイスを利用)	-	あり	あり (手動・自動スケーリング)	あり (自動スケーリング、上限・下限を指定)
課金	App Serviceプラン	VM数	VM数	-	従量課金/Premium/専用	-	秒単位、メモリ・CPU量による	ノードプールのVM数。単位は ? (VMは分単位、1分未満は切り捨て)	ランタイムは無料	-	マスターノード (Linux VM 料金) + ワーカーノード (Linux VM料金 + OpenShiftの料金)	割り当てたvCPU・メモリによる	使用されたvCPUとメモリの秒数 (vCPU 秒、GiB 秒) + リクエスト数
ネットワークアクセス	可能	不可能	可能	-	可能 (HTTPトリガー)	-	なし/パブリックIPアドレス /FQDN (指定したラベル、リージョン)。	可能	-	-		可能	可能
CPU/メモリ割り当て量の指定	なし ?	なし ?	?	?	なし ?	-	可能(1～4 CPU、1～16 GBメモリ)	可能 (マニフェストに記述)	-	-		可能	
VMサイズ指定	可能 (プラン)	可能	可能	-	可能 (Premium/専用)	-	不可能	可能	-	-			不可能
Linuxコンテナ	サポート(Web App for Containers, 2017/9/6-1)	サポート	サポート	-	サポート	-	サポート	サポート	AMD64 および ARM32 Linux コンテナの開発をサポート	-		指定できない ?	サポート。任意の Linux ベースの x86-64 (linux/amd64) コンテナイメージ
Windowsコンテナ	サポート	サポート	サポート	-	Azure Functionsとしては未サポート。Windowsでセルフホストは可能	-	サポート	サポート	? (「on Windows」は可能)	-		指定できない ?	不可 ?

[on Azure Arc 対応
Kubernetes クラスタ](#)

[on IoT Edge
on Kubernetes
on Azure Arc 対応
Kubernetes クラスタ](#)